

CC-Link IEフィールドネットワーク安全機能付きリモートI/Oユニット(安全プロトコルバージョン1対応製品)生産中止のお知らせ

■発行

2025年9月

■適用機種

NZ2GFSS2-32D, NZ2GFSS2-16DTE, NZ2GFSS2-8D, NZ2GFSS2-8TE

三菱電機汎用シーケンサに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、長い間ご愛顧いただいておりますCC-Link IEフィールドネットワーク安全機能付きリモートI/Oユニット(安全プロトコルバージョン1対応製品)の生産を下記のとおり中止させていただきますので、ご了承の程宜しくお願いいたします。

1 生産中止機種

品名	形名
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-32D
基本安全入出力混合ユニット	NZ2GFSS2-16DTE
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-8D
基本安全出力ユニット	NZ2GFSS2-8TE

2 生産中止時期

受注生産移行: 2026年9月1日

受注締切日: 2027年6月30日

生産中止日: 2027年9月30日

3 生産中止理由

生産中止機種に使用しております安全通信は、安全通信規格(IEC 61784-3)に適合しておりますが、本規格は2010版から2021版へ移行しております。このため、2010版の安全プロトコルバージョン1対応製品は、TUV認定証の更新が不可となりましたので、これらの製品を生産中止します。

後継機種として2021版に適合した安全プロトコルバージョン2対応製品を2023年6月に出荷開始しております。

欧州への流通または安全用機器の第三者認証が必要な場合は、既設の装置・システムに組み込まれた製品を後継機種へ置き換えいただくようお願いします。その他の場合は、既設の装置・システムに組み込まれた製品を引き続きご使用いただいて問題ありません。

4 修理対応

修理対応期間: 2034年9月30日(生産中止後、7年間)

5 置換え推奨機種

品名	生産中止機種(安全プロトコルバージョン1)	置換え機種(安全プロトコルバージョン2)
	形名	形名
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-32D	NZ2GFSS2-32D-S1
基本安全入出力混合ユニット	NZ2GFSS2-16DTE	NZ2GFSS2-16DTE-S1
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-8D	NZ2GFSS2-8D-S1
基本安全出力ユニット	NZ2GFSS2-8TE	NZ2GFSS2-8TE-S1

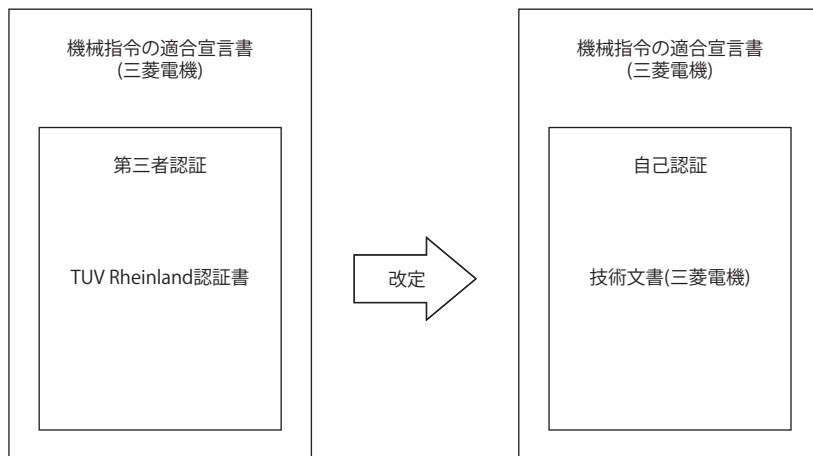
置き換え時の注意事項については4ページ 置き換え時の注意事項、置き換え手順については6ページ 置き換え手順を参照してください。

6 お客様へのお願い

製品の生産中止にあたり、1ページ 生産中止時期に記載の受注締切日までに、該当機種のご購入をお願いいたします。

7 TUV認定証有効期限後の取り扱い

2026年9月1日のCC-Link IEフィールドネットワーク安全機能付きリモートI/Oユニット(安全プロトコルバージョン1対応製品)受注生産移行後は、製品に同梱する第三者認証機関TUV Rheinlandの認証に基づく機械指令の適合宣言書を、弊社の自己認証に基づく機械指令の適合宣言書に改定いたします。



適合宣言書は欧州市場で製品を流通させる場合に必要となります。

本製品を組み込んだお客様の装置、システムを欧州市場で流通させる場合は、改定内容に注意してお客様の装置、システムの適合宣言書のご確認をお願いいたします。

Point

- 第三者認証は機械指令(2006/42/EC) Annex IX EC-type-examinationで定義される認証機関(Notified Body)による適合性評価と同一の意味として用いております。
- 自己認証は機械指令(2006/42/EC) Annex VIII Assessment of conformity with internal checks on the manufacture of machineryで定義される製造者自身による適合性確認と同一の意味として用いております。

8 置き換え時の注意事項

生産中止機種を置き換える場合は、ご使用の機種に応じて下記をご確認ください。

8.1 安全プロトコルバージョン1/2対応マスタ局との組み合わせ

製品とファームウェアバージョンによって対応している安全プロトコルバージョンが異なります。詳細は下記表をご確認ください。

○: システム構築可, △: システム構築可(制約あり), —: システム構築不可

接続機器(マスタ局)	安全リモートI/Oユニット		
	安全プロトコルバージョン2対応品	安全プロトコルバージョン2対応品+安全プロトコルバージョン1対応品	安全プロトコルバージョン1対応品
安全プロトコルバージョン1/2対応品	○	△ ^{*1}	△ ^{*1}
安全プロトコルバージョン1対応品	—	—	△ ^{*1}

^{*1} システム構築は可能ですが、第三者認証を新規に取得できません。第三者認証を新規に取得する場合は、最新の規格が要求されるため、安全プロトコルバージョン2対応品のみをご使用いただくことを推奨いたします。

8.2 サイクリック伝送の使用点数の変更

品名	生産中止機種(安全プロトコルバージョン1)		置換え機種(安全プロトコルバージョン2)	
	形名	RWr/RWw使用点数	形名	RWr/RWw使用点数
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-32D	16点	NZ2GFSS2-32D-S1	32点
基本安全入出力混合ユニット	NZ2GFSS2-16DTE	20点	NZ2GFSS2-16DTE-S1	
基本安全入力ユニット	NZ2GFSS2-8D		NZ2GFSS2-8D-S1	
基本安全出力ユニット	NZ2GFSS2-8TE		NZ2GFSS2-8TE-S1	

サイクリック伝送の使用点数が異なるため、GX Works3の[ネットワーク構成設定]から下記を変更してください。

1. GX Works3に安全プロトコルバージョン2対応品(形名末尾「-S1」)のプロファイルを登録します。
2. ネットワーク構成設定にて、現行品を安全プロトコルバージョン2対応品(形名末尾「-S1」)へ置き換えます。
3. RWr/RWwの設定値を変更します。
4. お客様のプログラムにてRWr/RWwをご使用されている場合は、設定割付に合わせて変更します。

8.3 シンプルモーションユニットとの接続制約

シンプルモーションユニットは安全プロトコルバージョン2に対応していないため、シンプルモーションユニットからCC-Link IEフィールドネットワークで安全リモートI/Oユニットを接続した構成では、後継機種へ置き換えることはできません。そのため、CC-Link IE TSNで接続したシステムへの一括置換えをご検討ください。

CC-Link IE TSNで接続したシステムへ置き換えることで、サーボアンプのオプションユニットレス化(装置価格の低減、省スペース化)を図ることができます。また置換え後のユニットでは機能、性能が向上しています。

お問い合わせに関しては、最寄りの当社の支社または代理店にご相談ください。

置換え前

■シンプルモーションユニットからCC-Link IEフィールドネットワークで安全リモートI/Oユニットを接続した構成



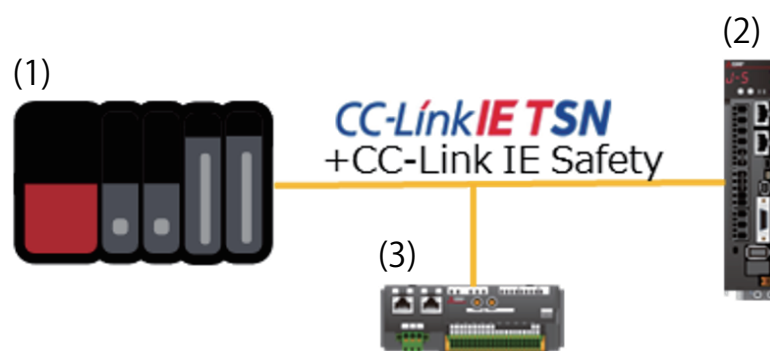
(1)安全CPU+シンプルモーションユニット(RD77GF4, RD77GF8, RD77GF16, RD77GF32)

(2)MR-J4-GF-RJ+D30

(3)安全リモートI/Oユニット(NZ2GFSS2-□□)

置換え後

■CC-Link IE TSNで接続したシステムへ一括置換えした構成



(1)安全CPU+モーションユニット(RD78G)

(2)MR-J5-G-HS/MR-J5-G-RJ

(3)安全リモートI/Oユニット(NZ2GNSS2-□□)

Point

- ・モーションユニットをシンプルモーションモードで使用するにより、容易にプログラムが移行できます。
- ・安全レベルは置換え前と同等です。(IEC61508(SIL3), ISO13849-1(カテゴリ4, PLe))

9 置き換え手順

生産中止機種から置換え機種に変更する手順を説明します。

9.1 仕様比較

安全プロトコルバージョンの変更とRWw/RWr使用点数が増加しています。

項目	生産中止機種		置換え機種	
	NZ2GFSS2-32D +NZ2EXSS2-8TE	NZ2GFSS2-16DTE, NZ2GFSS2-8D, NZ2GFSS2-8TE	NZ2GFSS2-32D-S1 +NZ2EXSS2-8TE	NZ2GFSS2-16DTE-S1, NZ2GFSS2-8D-S1, NZ2GFSS2-8TE-S1
入出力点数(二重配線時)	入力: 16点 出力: 4点	入力: 4点 出力: 4点	入力: 16点 出力: 4点	入力: 4点 出力: 4点
RX/Ry使用点数	80点		80点	
RWw/RWr使用点数	16点	20点 ^{*1}	32点	32点 ^{*1}
SA¥X/SA¥Y使用点数	48点	32点	48点	32点
安全プロトコルバージョン	1		2	

*1 RWw/RWr使用点数の増加に伴い、リモートレジスタの各機能の割付(デバイスNo.)が変更されます。詳細は下記表を参照してください。

項目	生産中止機種		置換え機種
	NZ2GFSS2-16DTE, NZ2GFSS2-8D, NZ2GFSS2-8TE		NZ2GFSS2-16DTE-S1, NZ2GFSS2-8D-S1, NZ2GFSS2-8TE-S1
Y出力ON情報(増設出力1段目)	RWr10		RWr1C
Y出力ON情報クリア要求(増設1段目)	RWw10		RWw1C
Y出力OFF情報(増設出力1段目)	RWr13		RWr1F
Y出力OFF情報クリア要求(増設1段目)	RWw13		RWw1F

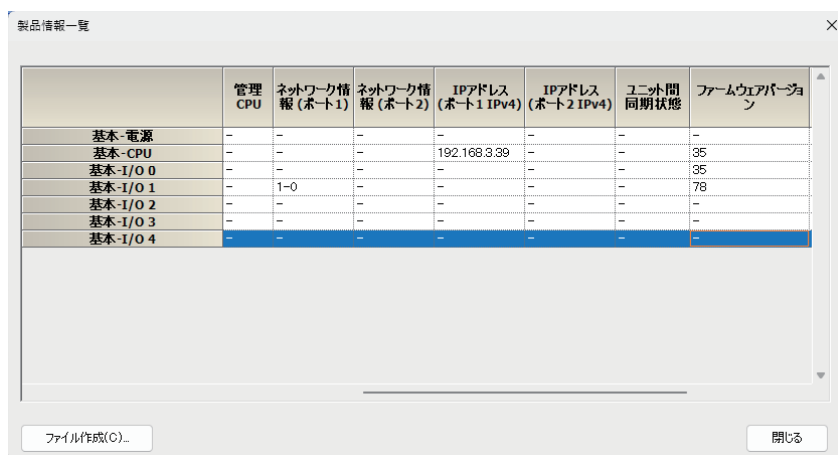
9.2 事前準備

安全プロトコルバージョン2対応バージョンのユニットとソフトウェアを用意します。

ユニット			ソフトウェア
R08SFCPU, R16SFCPU, R32SFCPU, R120SFCPU	R6SFM	RJ71GF11-T2	GX Works3
Ver.29以降	Ver.29以降	Ver.70以降	1.095Z以降

ファームウェアバージョンは、GX Works3の[製品情報一覧]から確認できます。

☞ [診断]→[システムモニタ]→[製品情報一覧]



GX Works3のバージョンは、GX Works3の[バージョン情報]から確認できます。

☞ [ヘルプ]→[バージョン情報]



使用しているGX Works3のバージョンがVer.1.095Z~1.101Fを使用している場合、プロファイル登録が必要です。

☞ 8ページ プロファイル登録

Ver.1.105K以降を使用している場合、プロファイル登録済みのため、9ページ 安全リモートI/Oユニットの実機交換に進んでください。

プロファイル登録

置換え機種のプロファイル入手

三菱電機FAサイトからプロファイルをダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

☞ [ダウンロード]→[ソフトウェア]→[制御機器]→[ネットワーク関連製品]→[プロファイル]→[CC-Link IE フィールドネットワーク]

対象のプロファイルは下記です。

- NZ2GFSS2-32D-S1用プロファイル
- NZ2GFSS2-16DTE-S1用プロファイル
- NZ2GFSS2-8D-S1用プロファイル
- NZ2GFSS2-8TE-S1用プロファイル

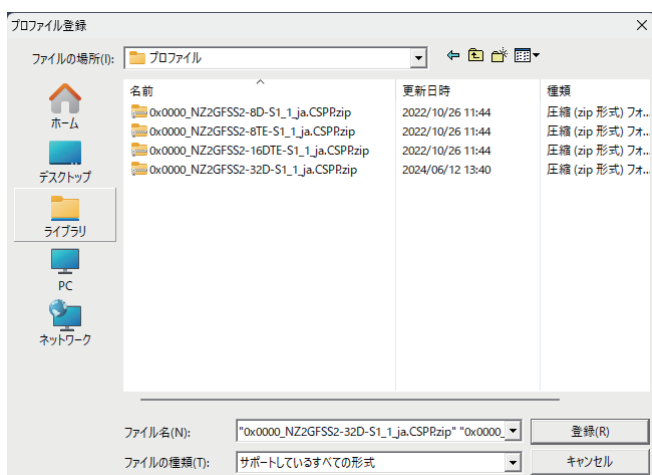
プロファイル登録

1. GX Works3を新規に起動します。(他に起動しているGX Works3があればすべて終了させてください。)
2. プロファイル管理からプロファイル登録画面を開きます。

☞ [ツール]→[プロファイル管理]→[登録]



3. プロファイル登録画面で、ダウンロードした置換え機種のプロファイルを選択し登録します。



9.3 安全リモートI/Oユニットの実機交換

下記の手順で生産中止機種から置換え機種へ交換を行ってください。

1. 安全制御システム(安全CPUと安全リモートI/Oユニット)のDC24V電源をOFFにします。
ユニット本体の電源と外部供給電源をOFFにします。
2. 生産中止機種の端子台(実際に配線されている部分)を取り外します。
3. 生産中止機種を安全プロトコルバージョン2対応の置換え機種に交換します。
4. 取り外した端子台を置換え機種に取り付けます。
端子台の付け間違いに注意してください。

Point

NZ2GFSS2-32Dは端子台が3つあるため特に注意してください。

5. 交換する台数分手順2.~4.を実施します。

9.4 パラメータ設定の変更

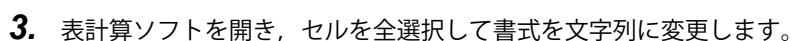
対象プロジェクトを開いて変更作業を行います。

パラメータ設定については、下記の変更が必要になります。

ユニット		項目	変更箇所
マスタ局	安全CPU	一般パラメータ	変更なし
		機器構成設定	変更なし
		安全パラメータ	変更なし
	マスタユニット	ネットワーク構成設定	ユニット形名, RWw/RWr割付
		リフレッシュ設定	RWw/RWr割付に伴うデバイス割付
		安全通信設定	安全プロトコルバージョンの設定
安全リモートI/Oユニット		パラメータ処理	置換え機種それぞれのパラメータ書込み

1. ネットワーク構成設定を開きます。

2. [局一覧(ヘッダと機器情報)のクリップボードへのコピー]を選択します。



4. 貼り付けます。

[illegible]

↓
変更後

6. 自局のデータから最後の局のデータまでコピーします。

7. ネットワーク構成画面で「クリップボード(機器情報)」から局一覧への貼り付けを選択します。



FA-D-0455-A

8. ネットワーク構成画面に置換え機種が表示されたことを確認し、[設定を反映して閉じる]を選択します。

CC IE Field構成 (先頭I/O : 0010)

CC IE Field構成(I) 編集(E) 表示(V) ツール(T) 設定を破棄して閉じる(N) **設定を反映して閉じる(R)**

接続機器の自動検出

モード設定(M): オンライン(標準モード) 割付方法(A): 先頭/最終 リンクスキャンタイム(概算値): 0.84 ms

	台数	形名	局番	局種別	RX/RX設定			RWw/RWw設定			スケジュールバイ
					点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	
	0	自局	0	マスタ局							
	1	NZ2GFSS2-32D-S1	1	リモートデバイス局	80	0000	004F	32	0000	001F	X1000(80点)
	2	NZ2GFSS2-32D-S1	2	リモートデバイス局	80	0050	009F	32	0020	003F	X1050(16点)
	-	NZ2EXSS2-8TE	-	-							
	3	NZ2GFSS2-8D-S1	3	リモートデバイス局	80	00A0	00EF	32	0040	005F	
	4	NZ2GFSS2-8TE-S1	4	リモートデバイス局	80	00F0	013F	32	0060	007F	
	5	NZ2GFSS2-16DTE-S1	5	リモートデバイス局	80	0140	018F	32	0080	009F	

Point

クリップボードを使用しない置換方法については下記を参照してください。

☞ 21ページ クリップボードを使用しない置換方法

FA-D-0455-A

リフレッシュ設定

ネットワーク構成設定のRWw/RWrの点数増加分をCPU側デバイスに割り付けします。

1. リフレッシュ設定を開きます。

☞ [0010: RJ71GF11-T2]→[基本設定]→[リフレッシュ設定]

2. リンク側の割付について、RWw/RWrの点数を満たすように割り付けします。

変更前

PRG] [L... 0010:RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ ×										
設定項目										
No.	リンク側					CPU側				
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	⇄	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	⇄	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	96	00000	0005F	⇄	指定デバイス	X	96	01000	0105F
2	RY	96	00000	0005F	⇄	指定デバイス	Y	96	01000	0105F
3	RWw	92	00000	0005B	⇄	指定デバイス	W	92	00000	0005B
4	RWr	92	00000	0005B	⇄	指定デバイス	W	92	01000	0105B
5					⇄					

↓

変更後

PRG] [L... 0010:RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ ×										
設定項目										
No.	リンク側					CPU側				
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終
-	SB	512	00000	001FF	⇄	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	⇄	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	96	00000	0005F	⇄	指定デバイス	X	96	01000	0105F
2	RY	96	00000	0005F	⇄	指定デバイス	Y	96	01000	0105F
3	RWw	160	00000	0009F	⇄	指定デバイス	W	160	00000	0009F
4	RWr	160	00000	0009F	⇄	指定デバイス	W	160	01000	0109F
5					⇄					

点数を満たしているかについては、ネットワーク構成画面でRWw/RWrの点数範囲を確認してください。

CC IE Field構成 (先頭I/O : 0010)										
CC IE Field構成(I) 編集(E) 表示(V) ツール(T) 設定を破棄して閉じる(N) 設定を反映して閉じる(R)										
接続機器の自動検出										
モード設定(M): オンライン(標準モード)				割付方法(A): 先頭/最終		リンクスキャンタイム(概算値):		0.84 ms		
台数	形名	局番	局種別	RX/RX設定			RWw/RWw設定			フレッシュデバ
				点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX
0	自局	0	マスター局							
1	NZ2GFSS2-32D-S1	1	リモートデバイス局	80	0000	004F	32	0000	001F	1000(80点)
2	NZ2GFSS2-32D-S1	2	リモートデバイス局	80	0050	009F	32	0020	003F	1050(16点)
-	NZ2EXSS2-8TE	-	-							
3	NZ2GFSS2-8D-S1	3	リモートデバイス局	80	00A0	00EF	32	0040	005F	
4	NZ2GFSS2-8TE-S1	4	リモートデバイス局	80	00F0	013F	32	0060	007F	
5	NZ2GFSS2-16DTE-S1	5	リモートデバイス局	80	0140	018F	32	0080	009F	

安全通信設定

置換え機種種の安全通信設定の安全プロトコルバージョンを2に変更します。

1. マスタユニットの安全通信設定を変更します。

☞ [0010: RJ71GF11-T2]→[応用設定]→[安全通信設定(詳細)]

2. 構成ユニットを置換するために、発信先の空白に[自ネットワーク]を選択します。

No.	発信先	ネットワーク構成	構成ユニット	オープン方式	送信時間監視時間 [ms]	安全リフレッシュ監視時間 [ms]	安全データ転送デバイス設定	安全プロトコルバージョン
1	自ネットワーク	1	1 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-32D	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 48 000000 00002F SAWY 48 000000 00002F	1
2	自ネットワーク	1	2 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-32D	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 48 000100 00012F SAWY 48 000100 00012F	1
3	自ネットワーク	1	3 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-8D	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 32 000200 00021F SAWY 32 000200 00021F	1
4	自ネットワーク	1	4 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-8TE	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 32 000300 00031F SAWY 32 000300 00031F	1
5	自ネットワーク	1	5 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-16DTE	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 32 000400 00041F SAWY 32 000400 00041F	1

3. 「安全通信設定対象ユニット選択」の画面が表示されたら、置換する形名を選択して追加します。

自ネットワークにおける安全通信設定対象ユニットを選択します。
(注意)
・既に同じ局番の設定が存在した場合は、上書きします。
・自ネットワークに対する安全通信設定をするためには、先にネットワーク構成設定をする必要があります。

全選択(A) 全解除(N)

局番	局種別	形名
☒	1 リモートデバイス局	NZ2GFSS2-32D-S1
☒	2 リモートデバイス局	NZ2GFSS2-32D-S1
☒	3 リモートデバイス局	NZ2GFSS2-8D-S1
☒	4 リモートデバイス局	NZ2GFSS2-8TE-S1
☒	5 リモートデバイス局	NZ2GFSS2-16DTE-S1

追加 キャンセル

4. 形名が正しく置き換わったことを確認し、安全プロトコルバージョンを2に変更します。

No.	発信先	ネットワーク構成	構成ユニット	オープン方式	送信時間監視時間 [ms]	安全リフレッシュ監視時間 [ms]	安全データ転送デバイス設定	安全プロトコルバージョン
1	自ネットワーク	1	1 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-32D-S1	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 48 000000 00002F SAWY 48 000000 00002F	2
2	自ネットワーク	1	2 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-32D-S1	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 48 000100 00012F SAWY 48 000100 00012F	2
3	自ネットワーク	1	3 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-8D-S1	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 32 000200 00021F SAWY 32 000200 00021F	2
4	自ネットワーク	1	4 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-8TE-S1	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 32 000300 00031F SAWY 32 000300 00031F	2
5	自ネットワーク	1	5 リモートデバイス局 NZ2GFSS2-16DTE-S1	Active	35.0	60.0	相手局-> SAKX 32 000400 00041F SAWY 32 000400 00041F	2

5. マスタ局のユニットパラメータの設定を適用します。

設定項目

項目	設定
パラメータ名称	
動的ルーチング設定	有効
他局イベント取得設定	取得する
ユニット動作モード設定	オンラインモード
リンク転送設定	<詳細設定>
安全通信設定	
安全通信使用有無設定	使用する
安全通信設定	<詳細設定>

説明
安全通信する接続設定、安全データ転送範囲、安全プロトコルバージョンを設定します。
安全プロトコルバージョン1: IEC 61784-3:2010に準拠した通信
安全プロトコルバージョン2: IEC 61784-3:2021に準拠した通信

チェック(X) デフォルトに戻す(U) 適用(A)

6. 安全リモートI/Oユニットを安全CPUに認識させるために、シーケンサへの書込みを実施します。

☞ [オンライン]→[シーケンサへの書込み]

FA-D-0455-A

ユニットパラメータ設定

安全リモートI/Oユニットのユニットパラメータの書き込みをします。

1. ネットワーク構成設定を開きます。

☞ [0010: RJ71GF11-T2]→[基本設定]→[ネットワーク構成設定]

2. パラメータ入力および、パラメータ書き込みを行います。

☞ [ネットワーク構成画面]→[デバイス局のパラメータ設定]→[実行する処理: パラメータ書き込み]

デバイス局のパラメータ処理

対象機器情報 NZ2GFSS2-32D
先頭I/O No.0010 ~ 局番:1

実行する処理(M): パラメータ書き込み 対象ユニットに対しパラメータの書き込みを行います。本画面を開くと設定値は破棄されますので、開く前にパラメータ書き込みまたはエクスポートを行ってください。

パラメータ情報

全選択(A) 全解除(L) 「読み値」を全クリア(R) 「書き込み」を全クリア(C)
「初期値」を「書き込み」にコピー(T) 「読み値」を「書き込み」にコピー(D)

名称	初期値	単位	読み値	単位	書き込み	単位	設定範囲	説明
局単位パラメータ								
送信情報監視時間	95	ms		ms			4~1000	安全データの送信情報監視時間を設定します。
外部供給電源電圧異常検出	0:安全動作				0:安全動作			外部供給電源電圧異常検出時の動作を設定します。外部供給電源電圧異常検出時の動作を設定します。
入力配線選択	0:未使用				0:未使用			入力配線方法を設定します。
入力配線選択 X0	0:未使用				0:未使用			X0に「二重化(NC/NO)」設定時、X1はX0と同じ値を設定します。
入力配線選択 X1	0:未使用				0:未使用			X1に「二重化(NC/NO)」設定時、X2はX1と同じ値を設定します。
入力配線選択 X2	0:未使用				0:未使用			X2に「二重化(NC/NO)」設定時、X3はX2と同じ値を設定します。
入力配線選択 X3	0:未使用				0:未使用			X3に「二重化(NC/NO)」設定時、X4はX3と同じ値を設定します。

処理オプション

選択した処理にはオプションはありません。

リモート入力/リモートレジスタがリフレッシュされているデバイスの通信書換場合があります。
・現在の接続先を使用し、シーケンサCPUにアクセスします。接続先が間違いないを確認してください。
・シーケンサCPUに書き込まれているパラメータをリフレッシュを行います。
・画面左上の内容が変更されていない項目に関する情報は、マニュアルを参照してください。

☐ パラメータ書き込みの成功時に安全ユニットを有効化する(P)

パラメータ処理を実行(O)

インポート(I)... エクスポート(E)... OK キャンセル

3. 交換した台数分、2.の手順を繰り返します。

4. ネットワーク構成画面の[設定を反映して閉じる]を選択します。

CC IE Field 構成 (先頭I/O : 0010)

接続機器の自動検出

モード設定(M): オンライン(標準モード) 割付け方法(A): 先頭/最終 リンクスキャンタイム(概算値): 0.04 ms

台数	形名	局番	局種別	RX/RV設定	RWw/RW設定	フレッシュデバイス				
				点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RX
0	自局	0	マスター局							
1	NZ2GFSS2-32D-S1	1	リモートデバイス局	80	0000	004F	32	0000	001F	X1000(80点)
2	NZ2GFSS2-32D-S1	2	リモートデバイス局	80	0050	009F	32	0020	008F	X1050(16点)
3	NZ2GFSS2-8TE	3	リモートデバイス局	80	00A0	00EF	32	0040	005F	
4	NZ2GFSS2-8TE-S1	4	リモートデバイス局	80	00F0	013F	32	0060	007F	
5	NZ2GFSS2-16DTE-S1	5	リモートデバイス局	80	0140	018F	32	0080	009F	

局番1 局番2 局番3 局番4 局番5

局番1 マスター局
局番2 局番3 局番4 局番5
局番5 局番6
局番7 局番8
局番9 局番10
局番11 局番12
局番13 局番14
局番15 局番16
局番17 局番18
局番19 局番20
局番21 局番22
局番23 局番24
局番25 局番26
局番27 局番28
局番29 局番30
局番31 局番32
局番33 局番34
局番35 局番36
局番37 局番38
局番39 局番40
局番41 局番42
局番43 局番44
局番45 局番46
局番47 局番48
局番49 局番50
局番51 局番52
局番53 局番54
局番55 局番56
局番57 局番58
局番59 局番60
局番61 局番62
局番63 局番64
局番65 局番66
局番67 局番68
局番69 局番70
局番71 局番72
局番73 局番74
局番75 局番76
局番77 局番78
局番79 局番80
局番81 局番82
局番83 局番84
局番85 局番86
局番87 局番88
局番89 局番90
局番91 局番92
局番93 局番94
局番95 局番96
局番97 局番98
局番99 局番100

出力

補足情報 出力

9.5 プログラムのデバイス置換

プログラムで使用しているデバイスの変更を行います。

NZ2GFSS2-16DTE+NZ2EX-16(DO) のデバイス置換手順を例に説明します。

ユニット置き換え前の設定では、Y出力ON情報(RWr58)とY出力OFF情報(RWr5B)がW58とW5Bに割り付けられていました。しかし、ユニット置き換え後は、W58とW5Bが別のリフレッシュデバイスで使用されることになるため、W58とW5Bに割り付けられていた情報を新しいデバイスに再割り付ける必要があります。

ユニット置換え前

CC IE Field構成 (先頭I/O : 0010)

CC IE Field構成(I) 編集(E) 表示(V) ツール(T) 設定を破棄して閉じる(N) 設定を反映して閉じる(R)

接続機器の自動検出

モード設定(M): オンライン(標準モード) 割付方法(A): 先頭/最終 リンクスキャンタイム(概算値): 0.82 ms

台数	形名	RX/RV設定			RWw/RW設定			リフレッシュデバイス	
		点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RWw	RWr
0	自局								
1	NZ2GFSS2-32D	80	0000	004F	16	0000	000F	W0<16点>	W1000<16点>
2	NZ2GFSS2-32D	80	0050	009F	16	0010	001F	W10<16点>	W1010<16点>
-	NZ2EXSS2-8TE								
3	NZ2GFSS2-8D	80	00A0	00EF	20	0020	0033	W20<20点>	W1020<20点>
4	NZ2GFSS2-8TE	80	00F0	013F	20	0034	0047	W34<20点>	W1034<20点>
5	NZ2GFSS2-16DTE	80	0140	018F	20	0048	005B	W48<20点>	W1048<20点>
-	NZ2EX-16(DO)	16	0190	019F					

↓
ユニット置換え後

CC IE Field構成 (先頭I/O : 0010)

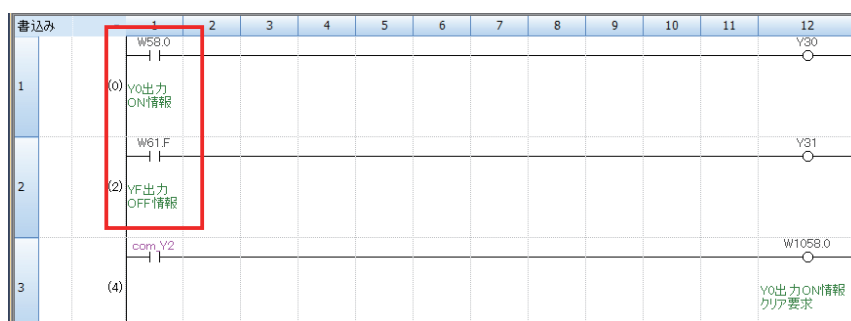
CC IE Field構成(I) 編集(E) 表示(V) ツール(T) 設定を破棄して閉じる(N) 設定を反映して閉じる(R)

接続機器の自動検出

モード設定(M): オンライン(標準モード) 割付方法(A): 先頭/最終 リンクスキャンタイム(概算値): 0.84 ms

台数	形名	RX/RV設定			RWw/RW設定			リフレッシュデバイス	
		点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	RWw	RWr
0	自局								
1	NZ2GFSS2-32D-S1	80	0000	004F	32	0000	001F	W0<32点>	W1000<32点>
2	NZ2GFSS2-32D-S1	80	0050	009F	32	0020	003F	W20<32点>	W1020<32点>
-	NZ2EXSS2-8TE								
3	NZ2GFSS2-8D-S1	80	00A0	00EF	32	0040	005F	W40<32点>	W1040<32点>
4	NZ2GFSS2-8TE-S1	80	00F0	013F	32	0060	007F	W60<32点>	W1060<32点>
5	NZ2GFSS2-16DTE-S1	80	0140	018F	32	0080	009F	W80<32点>	W1080<32点>
-	NZ2EX-16(DO)	16	0190	019F					

Y出力ON情報等を使用したプログラム例



NZ2GFSS2-16DTE+NZ2EX-16(DO)からNZ2GFSS2-16DTE-S1+NZ2EX-16(DO)の置換えでは、リモートレジスタの各機能の割付け(デバイスNo.)が下記のように変更されます。

項目	NZ2GFSS2-16DTE	NZ2GFSS2-16DTE-S1
RWrの先頭	RWr48	RWr80
Y出力ON情報	RWr58(RWr48+10)	RWr9C(RWr80+1C)
Y出力OFF情報	RWr5B(RWr48+13)	RWr9F(RWr80+1F)

FA-D-0455-A

デバイス一括置換機能を使用する方法

デバイス一括置換機能を使用したプログラムのデバイス置換する手順を説明します。

🔍 [検索/置換]→[デバイス一括置換]

検索デバイス	置換デバイス	点数	点数形式
W58	W9C	4	10進
W1058	W109C	4	10進
			10進
			10進
			10進
			10進
			10進
			10進
			10進
			10進

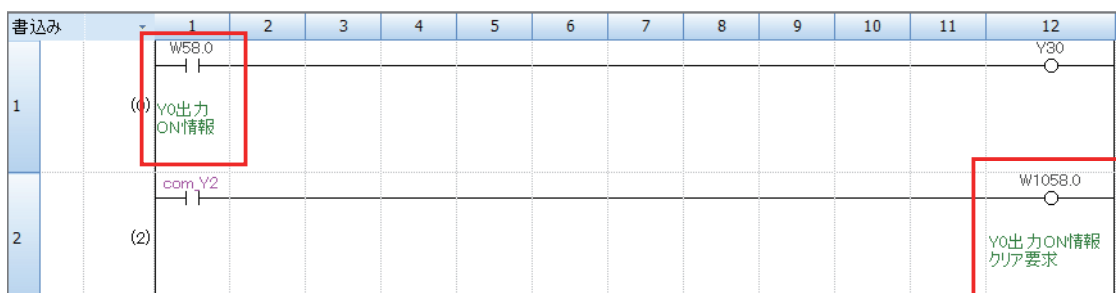
すべて置換(A) すべてクリア(C)

- 置換オプション(P)

デバイスコメント(E) 移動する

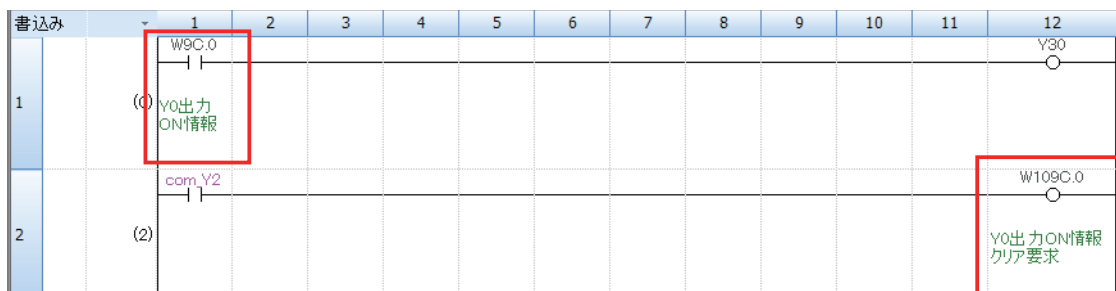
1. 検索デバイス列と置換デバイス列に置換え前後のデバイス名を入力します。
2. 点数列に変更する点数分入力します。
3. デバイスコメントは"移動する"を選択します。
4. [すべて置換]をクリックして、プログラムが置換されたことを確認します。

置換前



↓

置換後



FA-D-0455-A

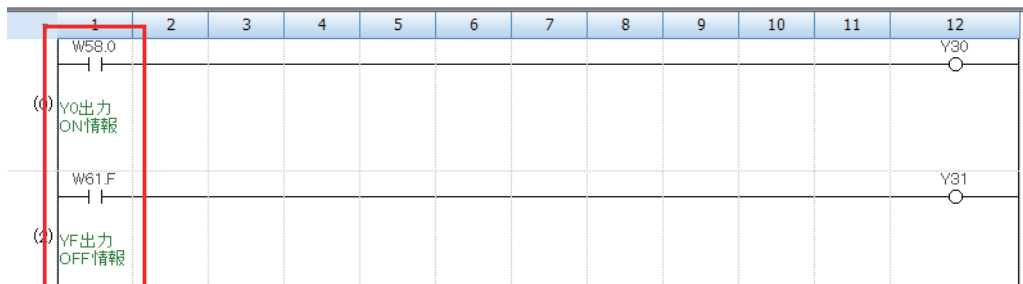
デバイス/ラベル置換機能を使用する方法

デバイス/ラベル置換機能から、プログラムのデバイス置換する手順を説明します。

🔍 [検索/置換]→[デバイス/ラベル置換]

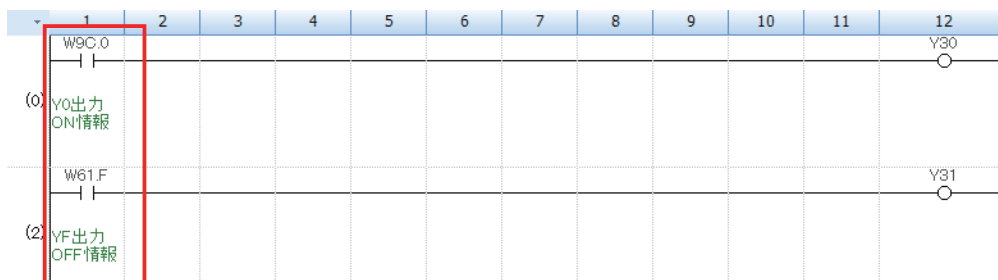
1. 検索デバイスに置換え前、置換デバイスに置換え後のデバイスを入力します。
2. デバイス点数を変更する点数分入力します。
3. デバイスコメントは"移動する"を選択します。
4. [すべて置換]をクリックして、プログラムが置換されたことを確認します。

置換前



↓

置換後



FA-D-0455-A

9.6 安全ユニット有効化

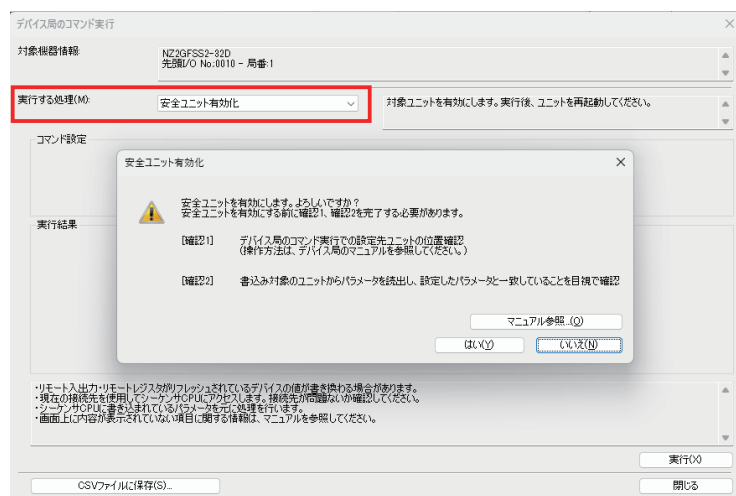
安全リモートI/Oユニットのユニットパラメータを有効化します。

1. マスタ局のユニットパラメータの設定を適用します。
2. シーケンサへの書込みを実施します。

🔗 [オンライン]→[シーケンサへの書込み]

3. 安全制御システム(安全CPUと安全リモートI/Oユニット)をリセットしてください。
4. ネットワーク構成設定から安全ユニット有効化を実施します。

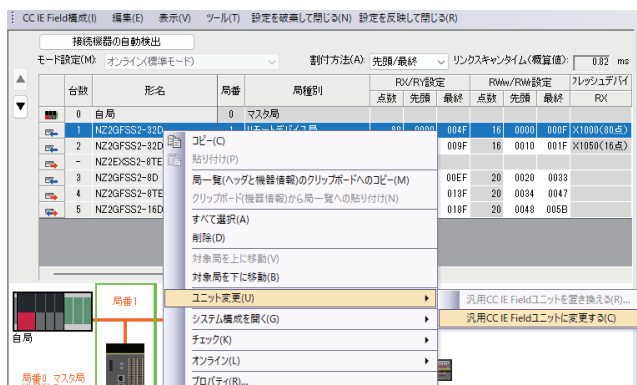
実施後は、安全リモートI/Oユニットの再起動が必要です。



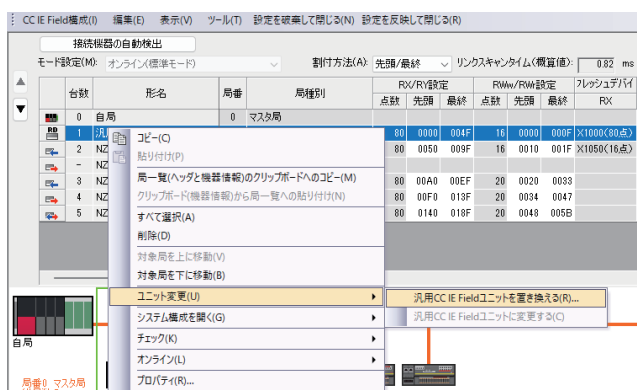
10 付録

10.1 クリップボードを使用しない置換方法

1. ユニットを選択し、[ユニット変更]→[汎用CC IE Fieldユニットに変更する]を選択します。

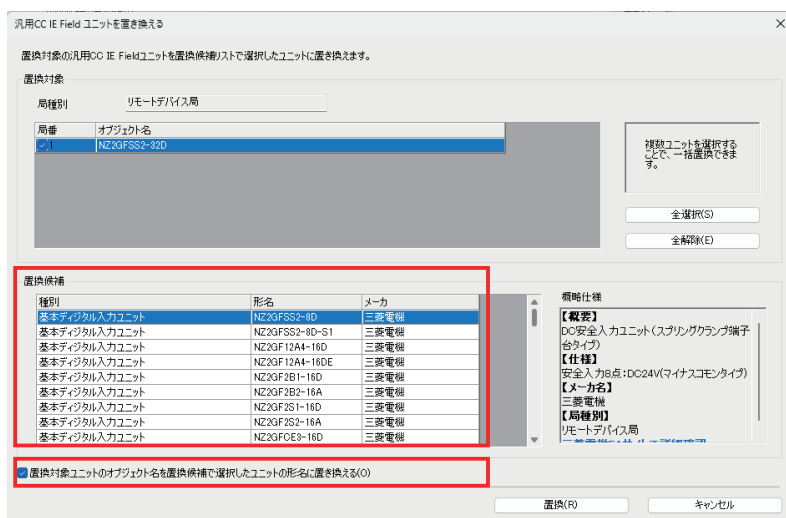


2. 汎用CC IE Fieldユニットに対して、[汎用CC IE Fieldユニットを置き換える]を選択します。



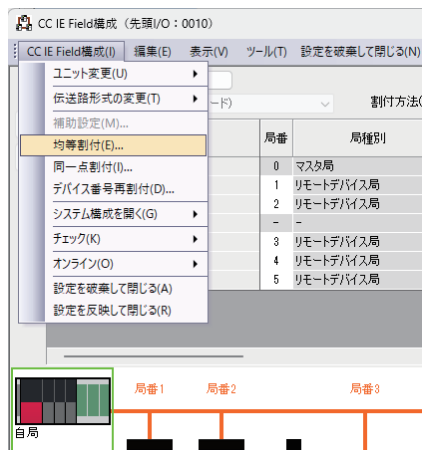
3. 置換候補一覧の中から置き換えるユニットを選択します。

4. “置換対象ユニットのオブジェクト名を置換候補で選択したユニット形名に置き換える”にチェックを入れ[置換]をクリックします。



RWw/RWr自動割付設定

1. ネットワーク構成画面の[CC IE Field構成]→[均等割付]を選択します。



2. RWw/RWr均等割付で、安全リモートI/Oを32点数に変更します。
割付総点数に32点×局数分の点数を入力し、[適用]をクリックします。



FA-D-0455-A

改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
A	2025年9月	初版

商標

本文中における会社名，システム名，製品名などは，一般に各社の登録商標または商標です。
本文中で，商標記号(™，®)は明記していない場合があります。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-2606
関越機器営業部	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命新潟ビル)	(025) 241-7227
神奈川機器営業部	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区大通西3-11 (北洋ビル)	(011) 212-3792
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルヂング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー
登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。
三菱電機FAサイト - 仕様・機能に関するお問い合わせ
www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/contact-us/spec/

